

県政 かわら版

2014

秋

千葉県議会議員

岩井やすのり



岩井やすのり県政報告

酒々井県道 全面復旧は来年3月

昨年10月の台風26号の影響により、未だ片側通行の状況が続く県道宗吾酒々井線。この9月、全面復旧に向けようやく着工となりました。

県道脇がけ崩れ 民家1棟が全壊

伊豆大島で大規模な土砂災害を引き起こし、多数の犠牲者を出した昨年10月の台風26号。県内でも、死者1人、重傷者2人、軽傷者17人、床上浸水1200棟、床下浸水2450棟等、甚大な被害となりました。

印旛郡内においても多数の爪痕を残しましたが、未だに住民の足に大きな影響を与える県道宗吾酒々井線の問題は特に深刻です。

宗吾酒々井線は、成田市宗吾霊堂前から酒々井町上本佐倉までの、国道51号と並行して走る約5・0キロメートルの区間です。台風26号の影響により下岩橋付近の道路法面が大きく崩壊。崖下の民家1棟が押しつぶされただけでなく、道路が深くえぐられ、道路の全面封鎖を余儀なくされました。翌11月に「全面通行止め」は解除されたものの、未だ「片側交互通行」の状態が続いているのです。



片側通行が続く県道宗吾酒々井線 下岩橋付近



崩壊した県道脇の法面 (9/18 酒々井町下岩橋)

重機搬入に狭い道幅の壁

着工まで1年

9月16日、現場復旧に向けようやく着工となりましたが、どうしてこんなに時間がかかったのか。

今回のような法面の復旧作業を行うには、がけ下からの作業が不可欠です。現場までの道のりは道幅の狭い農道等しかないため、重機を搬入するための仮設道路の設置が必要となり、地権者との交渉や現地測量などに多くの時間を要したようです。また、水田用地に仮設道路を設けるには、稲刈り時期を待つ必要もあったのかと推測されます。

崩壊家屋の撤去から着手

来春に再開通

着工したとはいっても、県道側からその動きは見られません。現在は、重機を搬入するための環境整備として崩壊した家屋の撤去作業に着手したところ。県道復旧工事には約6か月間を要し、来年3月に両側通行再開となる見込みです。

事業の早期完成を求めていくことはもちろん、作業により近隣への不便が生じることがないように、住民からの聞き取りも続けてまいります。

コンビニ防犯ボックスで侵入窃盗6割減

地域要望に応え設置促進を

県は、昨秋から県内2箇所で開催を始めた「コンビニ防犯ボックス」の設置効果について発表し、侵入窃盗件数が前年比6割減だったことがわかりました。

人口あたり刑法犯数 栄町県内最少

県内における犯罪発生件数は、平成14年をピークに10年連続で減少しているものの、女性や高齢者などを狙った犯罪が未だに多発しています。

平成25年度の県内の刑法犯は7万7千件余り。人口1万人あたりの発生件数125・8件は、全国平均の103・2件を2割以上も上回る状況です。

印旛郡内では、栄町が61・9件（1万人あたり／総数）と県内最少である一方、酒々井町の155・0件（同）は県内55市町村のうち5番目に多いという不名誉な状況にあります。

他の県内市町村と同様、空き巣や自転車盗等の窃盗犯の発生件数に格差が生じており、地域パトロールなど防犯活動の強化が共通の課題です。

設置費用300万円

交番設置の10分の1

千葉県では、昨年11月より千葉市内と市川市内の2店のコンビニエンスストア駐車場に「コンビニ防犯ボックス」を設置し、実証実験を進めてきました。検証結果によると、5か月間に通学路の見守り活動761回、交差点の街頭監視1264回などの防犯活動を実施。侵入窃盗発生件数は、千葉市内の星久喜地区で前年同期比20件（57・1％）減少し、市川市南大野地区でも同15件（62・5％）減少するなど、その効果が確認されています。

警察官1人あたりの負担軽減を

そもそも千葉県は「警察官1人あたりの人口負担率」が全国でもワースト上位の状況にあります。防犯ボックスは、地域の警察官OBを有効活用し、地域の安全を確保する大きな手立てとなりうるもの。都市部のみならず、酒々井町や栄町など印旛郡内での導入も引き続き働きかけてまいります。

人口1万人あたりの犯罪発生件数(平成25年度)

	総数	凶悪犯 (殺人・放火等)	粗暴犯 (暴行・傷害等)	窃盗犯 (空き巣等)	知能犯 (詐欺・横領等)	その他 (風俗犯罪等)
県全体	125.8	0.6	5.5	98.5	3.2	18.0
栄町	61.9	0	1.4	50.2	1.9	8.4
酒々井町	155.0	0.5	9.5	117.2	4.7	23.1
印西市	127.5	0.8	3	103.2	2.3	18.2
成田市	136.3	0.1	5.3	103.3	4.6	23.0
全国	103.2	0.5	5.2	77.0	3.4	17.1

出所:「平成26年度警察白書」及び「人口1万人あたりの犯罪発生件数」千葉県警HPをもとに筆者が作成



コンビニ防犯ボックス (千葉市中央区)

印旛郡・印西市区の合区 見送り

2015千葉県議選

来春実施の県議選に向けて設置されていた定数等検討委員会ですが、審議は打ち切りとなり、議員定数、選挙区等の見直しは見送られることが決定しました。

印西8・8万人で定数1

銚子7万人で定数2

これまでも選挙実施の前年に設置されてきた定数等検討委員会。昨年12月の公職選挙法改正により、現行の「市」「郡」単位の選挙区から「市」「市と隣接町村」「隣接町村」単位の選挙区への変更が要請されたことなどから、

- ① 飛び地となっている選挙区の解消
- ② 人口が多いのに定数が少ない逆転選挙区の解消
- ③ 人口あたりの1票の格差是正

の3点が課題となっていました。

印西市選挙区は県議1人あたりの人口が最も多く、一票が「最も軽い」ばかりか、同選挙区の人口が8・8万人（2010年国勢調査）で定数1であるのに対し、銚子市選挙区は人口7・0万人で定数2という「逆転区」になっており、事態は深刻です。

千葉県議会定数等検討委員会の開催経過

	開催日	議題	状況
第1回	2/28	正副委員長の互選	指名推薦で吉本委員長が決定した。
第2回	3/19	公選法の改正及び県議定数の現状について	公選法改正後の選挙区の設定方法等について、選挙管理委員会から説明を受けた。
第3回	6/17	各党派案の説明	自民党は2つの案を提出したが、一本化されないと議論できない旨の意見があり、自民党は次回までに一本化へ向け調整すると説明した。
第4回	7/2	定数等の検討	自民党が一本化できなかったことへの質疑が集中し、再度、自民党案の一本化を待つこととした。
第5回	9/11	委員長の互選、各派の定数等の考え方について	宇野委員長が決定。自民党から先の2つの案を撤回し、現行通りとする提案がなされた。
第6回	9/18	各党派の定数等の見直し案について	検討委員会として、各党派の意見の一致が見られなかったことを議長に報告することとした。

出所）千葉県議会事務局資料を基に筆者が作成

「意見の一致が見られない」として先送り決定

検討委員会は本年2月に始まり計6回開催。前述の3課題に加え、会派によつては「議員定数の削減」や「選挙区数の削減」が提案されたものの、意見集約を図ることができず、6月から予定されていた委員会での本格審議が行えない状況が続きました。

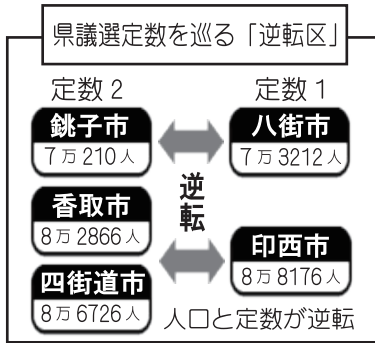
9月に入りようやく審議入りしたものの、結局、「会派間で意見一致が見られなかった」として、次回（2019年県議選）には2015年国勢調査結果を基に抜本的な改正を行うとの附則を設けることとして、来春の県議選は現行通りに行われることが決定したのです。

印旛郡・印西市選挙区

の合区は引き続き課題

地域では、印旛郡選挙区（栄町、酒々井）と印西市選挙区の合区が今回も見送られました。両選挙区が合区すれば、人口13・3万人で定数2となり、それぞれが抱える「1票の格差」「逆転選挙区」「飛び地選挙区」の課題を改善することができたはず。両選挙区の合区は、定数を増やすことなく諸課題を解決する現実的な良案と思われるだけに残念な結果です。

一票の格差の是正、逆転選挙区や飛び地選挙区の解消といった千葉県議会が抱える諸課題について、来春の県議選後に一刻も早く話し合いを再開させる必要があることです。



県警成田署に要望中

連動しない安食台信号機の見直し



2機は「系統信号」1機は「単独信号」

栄町安食台のけやき通りに並ぶ、京葉銀行前交差点、旧高倉屋酒店前交差点、石戸珠算教室前交差点に設置された3機の信号機が連動していないため、不便であるとの指摘を頂きました。

確認したところ、京葉銀行前の信号機と石戸珠算教室前の信号機は連動して変わりますが、高倉屋酒店前の信号機だけ他とずれて色が変わるため、けやき通りを法定速度で走行していると、それぞれの信号に引っかかってしまいます。これは、走行車両の速度を抑制する効果がある反面、円滑な交通の妨げにもなりかねない問題。けやき通りに比べ、交差する通りを通行する車両が格段に少ないだけに、苦情が上がるのも無理はありません。

県警成田署に状況確認した結果、予め設置されていた、京葉銀行前信号機と石戸珠算教室前信号機は連動する「系統信号」であるのに対し、昨年新設された高倉屋酒店前信号のみ「単独信号」であるため、このような状況になっているとのことでした。

平成27年度予算にて改善されるよう要望

これを改善するためには一定の予算計上が必要であり、今年度中の改良は難しいとのことでした。

近隣住民や通過ドライバーより多数の苦情をいただいているだけに、早期の解決が望まれるところ。来年度予算にて改善されるよう、引き続き働きかけてまいります。

担当弁護士による

無料法律相談

日程）毎月 第3 水曜日

（12月は17日、1月は21日）

相談会場）岩井やすのり 議員事務所

申込方法）0476-36-7799 まで

岩井やすのり

1970年（昭和45年）生まれ 44歳
早稲田大学大学院 政治学研究科
2011年 千葉県議会議員に初当選



岩井やすのり 議員事務所

TEL: 0476-36-7799

HP: www.iwai-y.jp

メール: mail@iwai-y.jp

〒270-1515 印旛郡栄町安食台 2-26-23
大山ビル 202（栄町役場前パン屋2F）



8/ 末に新設された鉄製ポール（酒々井バーミヤン前）

7月の協議では、国道事務所、酒々井町、酒々井町教育委員会の担当者が出席する中、交差点形状の特殊性、国道通行量の多さ、酒々井小学校の通学路にあたっていること等の事情を訴え、歩行者安全確保のための鉄製ポール設置を改めて要望。関係機関に配慮をいただき、直後の8月末に、視認性が高く自転車等の衝突にも備えた鉄製ポール（ボラード）の設置に至ったものです。

児童をはじめとする地域住民の安全が確保されることを心より期待いたします。



県政かわら版8月号にてご報告した、児童等の巻き込み事故が懸念される国道51号酒々井バーミヤン前交差点について、事故防止を願う住民の声が、鉄製ポール設置という形で生かされました。

酒々井町中川にある同交差点は極めて変則的な五差路。朝の時間帯などは、信号待ちする児童の集団の脇を、通勤途上の車両が勢いよく走り抜ける状態でした。以前から設置されていたポストコーンは事故防止を主眼に設置したものではないため、人の手でも簡単に折れ曲がるもので、歩行者を守るための鉄製ポール設置が、強く望まれてきたのです。

住民の声が県政に！ 巻き込み事故防止 鉄製ポール設置く酒々井